

印刷用データの作成・編集／入稿時のチェック・診断リスト

チェック項目	Illustrator	InDesign
工程として守らなくてははいけないルール		
仕上がりサイズ(仕上がりサイズ=アートボードサイズ) 重要!	W × H	W × H
裁ち落とし幅 (3mm) 重要!		
ページ数・ノンブル・綴じ方向の確認	頁 / 綴じ	頁 / 綴じ
使用するアプリケーションのバージョン	Ver.	Ver.
ドキュメントのカラーモード(CMYK)		
ラスターライズ効果設定(高解像度・300ppi)		
色数(「分版プレビュー」「分版」パネルで確認)とインキ総量(TAC値)		C
特色の有無(特色=「カラータイプ:特色」のスウォッチの使用)「カラータイプ:特色」不可		
特色データの作成方法(特色指定/プロセス代用) 重要!		
支給テンプレートの使用(支給時のみ)		
品質的に守った方がよいルール		
• テキスト・フォント		
エリア内テキスト・テキストフレームのオーバーセット(アフレ)はないか?		
「環境に無いフォント」はないか?(「書式」メニュー→「フォント検索」)		
「アウトライン」のチェック(「フォント検索」でフォントがリストされない) 重要!		
「アウトライン」後のデータ確認(予期せぬ変更はないか?)		
弊社対応フォントに準じているか		
• オブジェクト		
0.1mm以下の線はないか?(色アミの罫線では0.25mm以上を推奨・「塗りの線」の有無)		
アピアランスの重複など「複雑な作り」のオブジェクトはないか? 重要!		
オブジェクトを「隠す」、レイヤーを非表示の設定はないか?		
• リンクファイル(配置画像)		
「無効なリンク(リンク切れ)」はないか? 重要!		
リンクファイルの「実効」画像解像度(300dpi~400dpi程度)		
リンクファイルのカラーモード(原則としてCMYK)とフォーマット(指定に従う)		
• オーバープリント		
不要なオーバープリントの有無(白・グラデーションへの設定など) 重要!		
「自動スミノセ」か「ノセイキ」か、オーバープリントポリシーの確認		
オーバープリント設定使用時の連絡		
品質的に守った方がよいルール (修正・編集時) ※作業時のデータチェックは「品質的にまもったほうがよいルール」を確認		
オリジナルデータと「同じバージョン」で開く		
オリジナルデータのバックアップ		
データエラーの確認(フォント・リンクファイルなど)		
編集・修正した箇所以外の「予期せぬ変更」はないか?		
運用上、推奨しているルール		
• カンプ・出力見本		
原寸サイズでのプリントアウト(倍率設定の確認)		
プリントアウトの用紙サイズ(トンボを含めたプリントアウト)		
トンボ・裁ち落としの設定(プリントダイアログでの設定を確認)		
• ドキュメントの保存・パッケージ		
保存バージョン(バージョンダウン不可)		
指定された保存形式での保存		
.ai形式での「PDF互換ファイルを作成」のチェック		
「パッケージ」を使用してデータをまとめる 重要!		
• PDFの作成		
指定された「書き出しプリセット」の使用(設定は変更しない)		
指示通りのトンボ・裁ち落とし設定、PDFおよびPDF/Xのバージョン		
PDFをAcrobatで開いて目視確認(要・Acrobatの環境設定)		
PDFをAcrobatでプリフライト(「印刷工程」→「プリフライト」)		

※チェックシートのチェック欄には必要事項を記入するか、チェックマークを記入して、データチェック時の確認に使用してください。

印刷用データの作成のワークフロー

